

鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2026年7月8日

2026年6月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は382.6億円となり、前年同月比23%増と引き続き高水準を維持した。特にプレス系は昨月に続き、設備投資の高まりが見られる南アジア向で大型プレスの受注があり、大幅増加となったものの、板金系・サービス系は減少と、機種間で明暗が分かれた。一方、国内市場は設備投資に依然として慎重な見方が強く、プレス系・板金系・サービス系のいずれも国内は低調であった。
- 機種別 プレス系機械は194.4億円前で前年同月比80.1%増。特に 超大型プレス4.7倍、油圧プレス2.9倍、周辺装置93.8%増 と大型・周辺機種が輸出向けを中心に伸びた。板金系機械は110億円前で11.4%減。パンチング18%減、ブレーキ・シャー7.5%減、レーザ・プラズマ9.8%減と、国内・輸出ともに需要減。サービス系は78.2億円前で0.8%減。
- 内外別 国内は112億円前で13.7%減となった。電気31.5%増と堅調だったが、鉄鋼2.2%減、金属20.6%減、一般5.5%減、輸送51.3%減と軒並み低調となった。輸出は192.4億円前で88%増。南アジア向12.1倍、北米向2.2倍と大幅増。韓国・台湾向6.3%減、中国向32.7%減、東南アジア向47.4%減、欧州向12%減と地域差が大きい。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ

月 平 均



